

古代文化センター令和6年度調査研究年報

■古代文化センター企画運営委員会

〔1〕第1回（令和6年11月6日（水） 於：松江市殿町 サンラボーむらくも）

出席委員 10名（佐藤、兼岡、小林、千葉、仁藤、伴瀬、俵木、平郡、山村、山本）

(1) 議 事

① 基礎研究

- 1) 考古基礎資料調査研究
- 2) 風土記調査研究
- 3) 祭礼行事調査研究
- 4) 中世・近世史料の多角的研究

② テーマ研究

- 1) 島根の前期古墳
- 2) 鋳物と鋳物師の研究
- 3) 律令制下における地方行政の研究
- 4) 幕末維新期の島根における地域社会の変容
- 5) 環日本海の考古学的研究
- 6) 平安時代中期の国制と山陰地域

(2) 報 告

- ① 古代文化情報発信事業
- ② 古代歴史文化に関する共同調査研究事業
- ③ 古代文化の郷「出雲」調査事業・史跡出雲国府跡発掘調査
- ④ 島根県立古代出雲歴史博物館での企画展実施状況

〔2〕第2回（令和7年3月17日（月） 於：松江市殿町 サンラボーむらくも）

出席委員 8名（佐藤、小林、千葉、仁藤、伴瀬、俵木、平都、山本）

(1) 議 事

① 基礎研究

- 1) 考古基礎資料調査研究
- 2) 風土記調査研究
- 3) 祭礼行事調査研究
- 4) 中世・近世史料の多角的研究

② テーマ研究

- 1) 島根の前期古墳
- 2) 鋳物と鋳物師の研究
- 3) 律令制下における地方行政の研究
- 4) 幕末維新期の島根における地域社会の変容
- 5) 環日本海の考古学的研究
- 6) 平安時代中期の国制と山陰地域

(2) 報 告

- ① 古代文化情報発信事業
- ② 古代歴史文化に関する共同調査研究事業
- ③ 古代文化の郷「出雲」調査事業・史跡出雲国府跡発掘調査
- ④ 島根県立古代出雲歴史博物館での企画展実施状況

■調査研究事業

〔1〕基礎研究

(1) 考古基礎資料調査研究

① 墓制調査

1) 前期古墳の基礎的研究

令和元年度から前期古墳の基礎的研究を継続して進めている。今年度は10～12月に堀部1号墳（松江市鹿島町）の発掘調査をおこなった。同古墳はこれまで全長約45.5㍍の造り出し付円墳として、松江市指定史跡（堀部古墳群）に指定されている。昨年度測量調査を実施し、古墳時代前期にさかのぼる前方後円墳の可能性が高まった。今回の発掘調査によって、①前方部からも盛土が確認されたことから、全長70㍍、後円部2段築成、前方部1段の前方後円墳であることが明らかになった。②墳頂平坦面の調査では、平坦面の中央で長さ6.1㍍、幅2.5㍍の白色粘土を検出した。白色粘土範囲の外側からは板石を検出しており、このことから埋葬施設は竪穴式石槨であり、検出された白色粘土は埋葬施設にかかわる目張り粘土と考えられる。なお、時期決定のできる出土遺物はないものの、石杵と考えられる石器2点が墳頂部から出土している。

今回の成果は、出雲地域における前方後円墳の出現過程や、王権との交渉を考えるうえで重要な手がかりと言える。なお、本研究はテーマ研究「島根の前期古墳」と連携しながら進めており、今後も同研究に必要な基礎的研究と位置づけて実施する。

2) 横穴式石室の基礎研究

令和3年度から開始しており、横穴式石室・横穴墓およびその出土品に関するデータを蓄積し、将来的なテーマ研究等に展開するための基礎的な研究をおこなっている。資料化されていない横穴式石室の実測や、石棺式石室の三次元モデル作成などをおこなう。今年度は、岩屋後古墳（松江市大草町）の三次元モデルの作成、雨乞山古墳（松江市八雲町）の調査成果について古代文化研究で報告した。

（伊藤徳・伊藤智・仁木・稲田・岩崎・廣江・榊原・今福・吉松）

② 基礎資料調査（出土品再整理）

1) 西川津遺跡出土品再整理

本事業は過去に島根県教育委員会が発掘調査を実施し、現在埋蔵文化財調査センターで収蔵している出土品のうち、報告書非掲載遺物を中心とした再整理をおこない、その内容を明らかにするものである。その成果を展覧会や刊行物で広く活用することを目的としている。

令和3年度から西川津遺跡海崎地区【『西川津遺跡Ⅲ』（島根県教育委員会1987）、『西川津遺跡Ⅳ』（島根県教育委員会1988）、『西川津遺跡Ⅴ』（島根県教育委員会1989）】の再整理を開始し、今年度は4年目になる。整理の目的は土層図から基本層序を再整理し、各層位と出土土器を照らし合わせることで遺跡全体の堆積過程を復元することにより、遺構や単独では所属時期を明らかにできない遺物の年代的な位置づけを明確にし、遺跡の全体像をより詳細に明らかにすることである。

今年度は『西川津遺跡Ⅲ』と『西川津遺跡Ⅳ』、『西川津遺跡Ⅴ』の石器と動物遺存体を対象に分類をおこない、土層との対応関係を検討した。これにより、昨年度の成果と合わせ、西川津遺跡海崎地区の堆積状況と各層位の年代、遺物の状況を概ね把握することができた。また、この成果を基に報告書を刊行した。

2) 日韓交流の基礎研究

昨年度開始した弥生～古墳時代を対象に、島根県域と朝鮮半島との交渉関係を示す資料を素材にした基礎的な研究である。今年度は、島根県域での状況を日本海沿岸部各地と比較することを目的とし、北近畿を対象とした資料調査を実施した。

（勝部・椿・松尾・榊原・真木・吉松・今福）

③ 生産遺跡調査（近世近代在地陶磁器調査、古代窯業生産）

1) 近世近代在地陶磁器調査

県内における窯業遺跡や関連する伝世資料についてデータを収集、記録を作成し、島根県域における陶磁器生産史の全体像や、その特質を明らかにすることを目的とする。今年度は昨年度から引き続き石見焼を対象とし、吉田製陶所（浜田市上府町）の建造物調査や製作用具の実測調査、写真撮影などの調査を実施した。また、建造物調査の成果を古代文化研究に掲載した。さらに、出雲地域の陶磁器窯について、既存の資料が

ら概要等の基礎情報整理を行った。

2) 古代窯業生産（須恵器・埴輪等の産地分析）

県内の須恵器・埴輪について蛍光X線分析機器で胎土分析をおこない、遺物の型式学的研究とあわせ産地や製品の流通について検討するための基礎データを得ることを目的とする。今年度は、出雲地域では初現期となる古墳時代中期の窯である門生山根1号窯と奈良時代の窯である門生黒谷1号窯、洪山池古墳群1号窯、古曽志平廻田3号窯について分析を進めた。

（勝部・神柱・鈴木・木林・吉松・今福・榊原）

④ 青銅器調査（荒神谷遺跡青銅器調査、埋納地調査、同範銅鐸検討）

当センターが長年集積してきた全国の青銅器埋納地の立地環境に関するデータを中心に、景観や自然立地条件、周辺の集落・墳墓の分布や可視領域などの要素について総合的に検討を始めている。今年度は、愛媛県今治市の古谷尾ノ端遺跡中細形銅剣埋納地の現地踏査および出土銅剣の実見を行った。また、テーマ研究「島根県域における弥生社会の総合的研究」と連動するかたちで、出雲における青銅器文化の実態に関する多面的な分析に着手しており、荒神谷・加茂岩倉・志谷奥遺跡と多数埋納、入れ子の採用など類似点が多い松帆銅鐸群（兵庫県南あわじ市）との比較研究を実施した。青銅器研究者の同席指導を得ながら、松帆銅鐸（3号・5号）と荒神谷6号銅鐸、加茂岩倉27号銅鐸を同時に観察し、比較をおこなう検討会を開催した。

（澤田・増田・今福・松尾・東森）

⑤ 客員研究員と共同の検討会

第1回検討会（2025年2月5日 埋蔵文化財調査センター）

参加者：客員研究員5名、県職員18名

(2) 風土記調査研究

① 基礎資料調査

1) 風土記写本写真一覧表の更新

当センターが撮影した『出雲国風土記』等の写本写真のうち、研究者・県民等が閲覧できるものを一覧表に整理し、当センターHP上に公開中。本年度は昨年調査成果を発表した写本1点（高野宮本）の情報を追記した。

2) 風土記写本調査

鈴鹿家旧蔵『出雲風土記』（出雲風土記抄 意宇郡）（島根県立古代出雲歴史博物館所蔵）の写本調査（2024年12月16日、島根県立古代出雲歴史博物館）を行い、その成果を『古代文化研究』33で公表した。

参加者：平石充・吉永壮志・橋本剛・野々村安浩・田中昇一

3) 島根県古代史関連文献一覧の公開

『出雲国風土記一校訂・注釈編一』の参考文献一覧をベースに、島根県域の古代史に関する論文を集成し、当センターHP上で公開。

② 歴史景観復元調査

1) 国府周辺の研究（風土記の丘地内調査支援）

第36回史跡出雲国府跡発掘調査指導委員会（2024年10月30日、島根県立八雲立つ風土記の丘展示学習館）

参加者：橋本剛・榊原博英

③ 「大原郡の研究」検討会

担当者：橋本剛、吉永壮志、野々村安浩、榊原博英、久保田一郎、田中昇一、林健亮

客員研究員：荒井秀規、伊藤剣、大日方克己、渡邊正巳

研究協力者：志賀崇（雲南市教育委員会）

第3回検討会（2024年9月12日、島根県古代文化センター）

検討内容：蓬左文庫本『風土記』の性格、大原郡の「郡的世界」、斐伊川・赤川流域の流路など

参加者：客員研究員4名、研究協力者1名、県職員9名

第4回検討会（2025年3月18・19日、島根県古代文化センター・島根県立古代出雲歴史博物館）

検討内容：『風土記』大原郡の山・川記載、『和名抄』にみる大原郡の特質、大原郡のスガなど

参加者：客員研究員4名、研究協力者1名、県職員8名

④ 出雲国風土記の総括的研究

1) 兵庫県との研究連携

ひょうご歴史研究室「大阪湾岸と淡路の地域史研究」令和6年度第1回研究会（2024年6月15日、リモート）

参加者：平石充・吉永壮志・橋本剛・野々村安浩・田中昇一

ひょうご歴史研究室「大阪湾岸と淡路の地域史研究」令和6年度第2回研究会（2024年11月3日、リモート）

参加者：平石充・吉永壮志・橋本剛・野々村安浩

ひょうご歴史研究室「大阪湾岸と淡路の地域史研究」令和6年度拡大会議（2025年3月2日、リモート）

参加者：平石充

⑤ 『出雲国風土記』

一昨年度刊行した『出雲国風土記一校訂・注釈編一』に基づき、一般向けの書籍を刊行した。

（平石・吉永・橋本・野々村・榊原）

(3) 祭礼行事調査研究

島根県内の祭礼行事および民俗分野に関わる事象について、調査研究と記録作成を行い、その具体的内容と全体的性格を明らかにする。

① 民俗芸能等調査・記録作成

1) 「唐川の獅子舞」記録映像の編集

「唐川の獅子舞」は毎年11月3日の韓竈神社（出雲市唐川町）の例祭で奉納される獅子舞である。唐川の獅子舞は出雲西部でよく見られる獅子一頭に3人が入って舞う形式の獅子舞で、〈鳥居巻〉〈根切〉〈ささら〉〈拝〉〈剣舞〉〈手踊〉〈鈴舞〉の7段が現在伝承されている。この獅子舞が奉納される韓竈神社例祭では、神社での祭典とともに頭家神事も行われており、獅子舞とあわせて頭家神事や頭練り等の模様も収録した。今年度は昨年度撮影した映像の編集を行い、『記録編』（DVD・ブルーレイ各4枚組）を作成した。

（石山）

2) 島根県民俗芸能調査

文化庁の国庫補助事業として2024年度より3ヶ年の予定で新たに開始した調査事業。県内の民俗芸能等を対象とした現況調査で、調査票を用いた体系的な調査「基礎調査」を2024年度から開始した。2025年度からは県内約30件の民俗芸能等を対象とした実地調査「詳細調査」を行う。これらの調査成果は、2026年度末に刊行予定の調査報告書の中で報告する。

2024年度は6月に第1回調査委員会を開催し、7月から基礎調査を実施中である。なお、調査委員として次の5名を委嘱した。

調査委員：笹原亮二（国立民族学博物館・委員長）、浅沼政誌（松江市・副委員長）

久保田裕道（東京文化財研究所）、中野洋平（島根県立大学）、俵木 悟（成城大学）

第1回調査委員会（2024年6月15日（土） 於：古代出雲歴史博物館）

第2回調査委員会（2025年2月13日（木） 於：島根県古代文化センター） （石山・足立・岡・藤原）

② 民俗資料収集調査

1) 民俗芸能関連用具類調査・撮影

「下須の萬歳楽」（鹿足郡吉賀町下須、1990年県指定）の記録撮影に向けた現地調査を2024年12月7～8日に実施した。記録映像は2025年度撮影予定。

（石山）

2) 牛尾家所蔵史料調査・目録作成

2020年度から牛尾家（江津市桜江町）所蔵の近世・近代の文書および牛尾三千夫氏（1907～1986年）収集資料の整理と目録作成を行い、今年度完成した。資料の取扱い等については、所蔵者との協議の結果、古代出雲歴史博物館に寄託資料として受け入れた。

（石山・藤原）

3) 民俗関連資料のデジタル化

1990年代から2000年代に古代文化センター職員等により撮影・収録された写真や音声、映像資料のデジタル化を順次実施。2024年度は「多久神社のささら舞」（出雲市〈旧平田市〉・2003年度撮影）と「井野神楽」（浜田市三隅町・2004年度撮影）の道具類・文書のポジフィルム（501点）のデジタル化を行った。

（石山・足立）

- ③ 客員研究員共同検討会（2025年2月13日（木） 於：島根県古代文化センター）
2024年度の事業報告および2025年度の事業計画について協議・検討
参加者：客員研究員4名、県職員6名

(4) 中世・近世史料の多角的研究

急速に史料が散逸しつつある現状をふまえ、前年度に引き続き島根県の中世・近世の歴史を特徴づける、県内外の公的機関・個人が所有する古文書等の調査・研究を行い、その成果の情報発信に努めた。

① 客員研究員共同検討会

2024年12月14日 古代出雲歴史博物館

内容：（1）今年度事業報告 （2）来年度事業計画

参加者：客員研究員2名、指導者2名、県職員9名

② 史料調査・研究

2024年5月13日・14日 新出北島家文書（古代出雲歴史博物館寄託）の整理

2024年7月17日・8月9日・12月24日 江津市中村家文書（古代出雲歴史博物館寄託）の整理

2024年7月18日・8月21日・9月27日・10月17日・同31日・2025年3月25日

楯縫郡園山家文書（古代出雲歴史博物館所蔵）の目録作成

2024年10月22日・11月12日・12月12日・2025年2月19日・20日・3月13日

北島家近世日記類（古代出雲歴史博物館寄託）の状態把握・目録作成等

2024年11月20日 亀井家文書（国立歴史民俗博物館所蔵）の調査

2025年1月28日 北島家近世日記類にかかる佐藤孝之氏の調査指導

随時

亀井家文書（古代出雲歴史博物館所蔵）の一括購入分・個別購入分の細目録作成、近世初期史料の翻刻・分析

津和野藩領日貫村庄屋文書・邇摩郡波積村・大家郷文書（いずれも古代出雲歴史博物館所蔵）の整理・目録作成

③ 中世史料集成

随時 県外自治体史等から中世の島根関係記事を抽出・目録化し、古代文化センターのHPで公開

記録類：『天文日記』と『蔭涼軒日録』の記事抽出・目録作成・公開

島根県内中世城館史料目録：県東部（出雲地域）を中心に抽出作業（『出雲尼子史料集』他）

※テーマ研究「中世山陰の戦争と地域社会」と連携

〔2〕テーマ研究

(1) 島根の前期古墳

① 目的

古代文化センターでは、令和元年度から考古基礎資料調査研究（墓制調査）で松江市鹿島地域を対象に前期古墳研究を進めてきた。これらの成果を踏まえ、島根県域の古墳出現の画期の抽出、弥生時代から古墳時代への社会変化、地域間交渉の実態などから、島根県域における前期古墳・古墳時代前期社会の特質を明らかにすることを目的とする。

② 活動概要

研究3年目の今年度は、検討会を2回実施した。第5回検討会では、島根の前期古墳を相対化することを目的に、北陸、吉備、北部九州の他地域の状況について報告し、島根の状況との比較などを行った。第6回検討会では、考古基礎資料調査研究（墓制調査）の調査成果とそこから見出された鹿島地域の古墳時代前期社会の様相について、意見交換を行った。

〔担当者〕 吉松、今福、東森、松尾、仁木、椿

〔客員研究員〕 北條芳隆（東海大学）、高田健一（鳥取大学）、岩本 崇（島根大学）、廣瀬 覚（奈良文化財研究所）

〔指導者〕 寒川史也（岡山市教育委員会）、辻田淳一郎（九州大学）、高橋浩二（富山大学）、上田直弥（広島大学）、有松唯（広島大学）

③ 検討会

第3回検討会（2024年10月5、6日 於：埋蔵文化財調査センター、堀部1号墳、島根県立八雲立つ風土記の丘）

椿 真治「吉備における古墳出現期小墳群の動態」

寒川史也「吉備の前期古墳」

辻田淳一郎「北部九州の前期古墳」

高橋浩二「北陸の前期古墳」

参加者：客員研究員4名、指導者3名、関係機関1名、県職員9名

第4回検討会（2025年3月7日 於：古代文化センター）

吉松優希「堀部1号墳発掘調査報告」

吉松優希「古墳時代前期の鹿島地域」

参加者：客員研究員4名、関係機関1名、県職員7名

調査指導会（2024年12月3日 於：堀部1号墳）高田健一氏

（2024年12月20日 於：堀部1号墳）上田直弥氏、有松 唯氏

④ 資料調査等

2024年5月23日 安来市椿谷古墳出土資料 安来市立歴史資料館

2024年9月6日 鳥取市古海36号墳発掘調査現場視察 鳥取県鳥取市

2024年11月16日、17日 東日本における土器からみた古墳社会の確立参加 石川県金沢市

2024年12月9日 大田原市下侍塚古墳発掘調査現場視察 栃木県大田原市

(2) 鋳物と鋳物師の研究

① 目的

- 1) 島根県内と他地域で鋳造遺跡や鋳物生産の様相を比較検討する。既存のテーマ研究の成果を活用しながら、鋳鉄素材の動きと鋳物生産の関係を分析する。
- 2) 出雲宇波・石見市山等、鋳物師の製品や関連資料を収集し分析を加える。他県の類例も調査・比較し、鋳物生産の実態を探る。
- 3) 県内鋳物師相互の関係や地域社会との関わり、近世に鋳物師達を統括した京都真継家との結びつきを分析する。他地域との比較等を通じ、県内鋳物師の特色を解明する。

② 活動概要

鋳造の原料鉄生産遺跡や鋳造関連史資料の調査を、客員研究員・指導者の指導・協力を得ながら、島根県内外で実施した。その調査結果や史資料の分析を行い、鋳造行為やその製品の様相理解をより深化させた。また、近世近代の県内鋳物製品に対し県内鋳物師・鋳造業の動向なども視野に入れつつ調査し、それらの把握に努めた。

2回の客員検討会では、全体として幅広い年代を対象とする諸報告により、島根県の鋳物生産・技術の変遷や鋳造品の特色について分析を深めた。第6回検討会では報告・議論等により3年間の成果をまとめ、研究総括を行っている。また、今後の展示を視野に入れつつ、県内外の鋳造関連資料を調査した。

〔担当者〕目次謙一、矢野健太郎、松尾充晶、土橋由奈、東山信治

〔客員研究員〕五十川伸矢（元京都橘大学）、三船温尚（元富山大学）、鳥谷智文（松江工業高等専門学校）、村木二郎（国立歴史民俗博物館）、角田徳幸（雲南市教育委員会）

〔指導者〕八峠興（元鳥取県職員）

③ 客員共同検討会

第5回客員共同検討会（2024年9月6日（金） 於：島根県古代文化センター）

目次謙一「中世の鋳物師「大工」と鋳造工程・製品」

矢野健太郎「川本山根家関係史料にみる近世近代移行期の鋳物師身分」

鳥谷智文「明治中期における各市町村の鋳鉄場、経営者、規模、主製品について」

土橋由奈「明治後期～昭和10年代の島根県内鋳物工場の整理」

八峠 興「鳥取における近世から近代の鋳物について」（鳥取県）

参加者：客員研究員5名、指導者1名、職員7名

第 6 回客員共同検討会（2025年 3 月20日（木） 於：島根県古代文化センター）

五十川伸矢「鳥取県日南町霞の要害跡出土梵鐘鑄型と島根県安来市清水寺鐘の鑄造技術」

村木二郎「中国地方の金属製経筒」

角田徳幸「雲南市の製鉄遺跡とその年代」

松尾充晶「鉄穴流しによる地形改変と中世製鉄遺跡の立地」

東山信治「島根県内の鑄物師が製作した銅鐘について」

目次謙一「大正期櫻井家の鑄造業の変遷と製品」

参加者：客員研究員 5 名、指導者 1 名、職員 7 名

④ 資料調査等

2024年 8 月14日：雲南市内寺院寄託罌口（古代出雲歴史博物館）

2024年 9 月11日：出雲市内寺院所蔵文書・銅鐘（出雲市）

2024年11月 7 日・12 月 5 日：松江市内所有者蔵遠所家作品（松江市）

2024年11月19日：雲南市内寺院所蔵資料（雲南市）

2024年11月19日・12月20日：雲南市内寺院所蔵茶器・銅鐘・鉄の歴史博物館収蔵細田操氏旧蔵品（雲南市）

2025年 1 月14日：安来市宇波交流センター所蔵資料・安来市内寺院所蔵雲版・銅鐘（安来市）

2025年 1 月18日：安来市内所有者蔵資料（安来市）

2025年 2 月 7 日：寝屋川市内寺院所蔵銅鐘（大阪府寝屋川市）

2025年 2 月10・21日・3 月 4 日：松江・出雲・安来・奥出雲各市町内寺院所蔵銅鐘

2025年 2 月25日・3 月 3 日：大田市所蔵・寄託鑄物師関連資料

(3) 律令制下における地方行政の研究

① 目的

2023年 3 月に『出雲国風土記』校訂・注釈編が完成した。こうした成果を踏まえ、律令制下における地方行政の特質を分析する。①「出雲国計会帳」などの帳簿類の分析から、地方行政における国（国司）の役割や、国と郡との特殊な関係を明らかにする。②出雲国府跡などの発掘調査成果に基づき、地方行政の拠点たる国府（その周辺も含む）の景観を復元し、あわせて国府による労働力編成についても議論する。③官衙遺跡の集成を通じて、各郡の成立過程や郡内の分割統治のあり方を検討する。

② 活動概要

研究 2 年目の今年度は、検討会を 2 回実施した。第 3 回検討会では、政治拠点である国府を中心とする国務運営について、文献・考古両面から検討を行った。第 4 回検討会では、国より下のレベルの官衙の様相や、郡司を中心とする「郡の世界」の内実について報告を行い、意見交換を行った。また、島根郡家周辺の交通路について実地調査を実施した。

〔担当者〕 橋本剛、吉永壮志、吉松優希、野々村安浩、榊原博英、久保田一郎、田中昇一、伊藤智

〔客員研究員〕 大橋泰夫（島根大学）、鐘江宏之（学習院大学）、田中広明（埼玉県埋蔵文化財調査事業団）、森公章（東洋大学）

〔研究協力者〕 志賀崇（雲南市教育委員会）

〔オブザーバー〕 荒井秀規（明治大学）、藤木海（南相馬市教育委員会）

③ 検討会

第 3 回検討会（2024年 9 月14日・15日 於：埋蔵文化財調査センター）

田中広明「島根県の陶硯と腰帯（2）—観察報告と課題—」

藤木 海「陸奥国府多賀城の変容と南部諸郡の動向」

大橋泰夫「平安時代後期における国府変容に関する考古学的研究」

榊原博英「島根の古代官衙と関連遺跡（3）」

鐘江宏之「諸国の行政と散事・書生」

田中昇一「出雲国の木簡と調庸輸送業務」

参加者：客員研究員 4 名、研究協力者 1 名、オブザーバー 2 名、県職員10名

第 4 回検討会（2025年 3 月16日 於：埋蔵文化財調査センター）

榊原博英「島根の古代官衙と関連遺跡（４）」

志賀 崇「雲南市大東町・郡塚遺跡（旧大原郡家）の調査について」

田中広明「島根県の陶硯と腰帶（３）」

橋本 剛「『出雲国風土記』からみた郡司と「郡的世界」」

平石 充「八・九世紀の出雲臣について」

森 公章「郡家・国衙機構の行方と木簡」

参加者：客員研究員４名、研究協力者１名、県職員１０名

④ 資料調査等

2024年６月25日 島根郡家周辺の交通路調査

(4) 幕末維新期の島根における地域社会の変容

① 目的

幕末維新期の地域社会の変容と近代の成立過程を、出雲・石見・隠岐の歴史のおよび地域的な特色について、以下の点に注目し、具体的に明らかにする。① 出雲：幕末松江藩の動向と地域社会、② 石見：幕長戦争と津和野・浜田・銀山、③ 隠岐：隠岐騒動と廃仏毀釈、こうした歴史のかつ地域的な特色を有した幕末期の各地域が、「島根県」へと再編されていく過程における地域社会の変容を解明することで、島根の明治維新期の具体像の提示を目指す。

② 活動概要

今年度は、第３回共同検討会を津和野町で開催し、４本の研究報告と現地巡見、あわせて堀家文書の集中調査を実施した。第４回検討会では、４本の研究報告と研究および報告書の構成についての議論を行った。

島根における幕末維新期の史料に関しては、美郷町教育委員会、浜田市文化振興課、島根県公文書センター、江津市教育委員会、津和野町教育委員会、松江歴史館、島根大学附属図書館、島根県立図書館が所蔵する史料を調査している。これらにより研究の基礎的情報を収集・整理するとともに、検討会での報告・議論を通じて理解を深めた。

〔担当者〕 矢野、目次、岡、伊藤、石山、中安、土橋

〔客員研究員〕 岸本 覚（鳥取大学）、錦織 稔之（島根大学）、今村 直樹（熊本大学永青文庫研究センター）

天野 真志（国立歴史民俗博物館准教授）

〔調査協力者〕 小杉紗友美（津和野町教育委員会）、岩崎ことい（隠岐の島町教育委員会）

〔指導者〕 笠井今日子（松江歴史館）

③ 検討会

第３回検討会（2024年８月３日 於：津和野町民センター）

矢野健太郎「明治初期浜田県における諸課題 ―「浜田県歴史」の記事から―」

土橋由奈「『軍省大日記類』にみる明治初期～20年代の松江城」

錦織稔之「出雲・隠岐・石見の神職組織とその統制（一）」

小杉紗友美「幕末期の津和野藩と堀家」

参加者：客員研究員４名、調査協力者１名、県職員７名

第４回検討会（2025年２月９日 於：島根県古代文化センター）

中安恵一「石見銀山御料における御廻米制度の解体」

笠井今日子「幕末・明治期における松江藩土三浦家の動向」

岸本 覚「参勤交代緩和と出雲・石見地域の大名」

矢野健太郎「明治初期浜田県における租法の変容」

参加者：客員研究員４名、調査協力者２名、指導者１名、県職員９名

④ 資料調査等

2024年５月15日 美郷町教育委員会

2024年５月28日 浜田市文化振興課

2024年６月18日、21日 島根県公文書センター

2024年６月28日 江津市教育委員会

2024年8月5日、6日・11月1日 津和野町教育委員会

2024年8月27日 松江歴史館

2024年11月11日 島根大学附属図書館

2025年2月1日 島根県立図書館

2025年2月4日 島根県公文書センター

2025年3月29日 島根県立図書館

(5) 環日本海の考古学的研究

① 目的

弥生時代後半期から古墳時代中期の環日本海交流の実像を明らかにし、交流・交易が島根県域の社会に果たした役割について明らかにする。研究主眼として、以下の3点を中心とする。①島根県域で出土する外来系資料からみた当時の島根県域の社会復元と地域間比較。②列島の日本海沿岸部地域の文物交流の実相の把握と地域間交流ルートの復元的検討。③列島出土半島系資料や朝鮮半島出土倭系資料からみた対外交渉の把握および島根県域の弥生・古墳社会が果たした役割の解明。これらの研究主眼を基に環日本海交流における島根県域社会の復元的研究を試みる。

② 活動概要

研究1年目となる今年度は検討会を2回実施した。第1回検討会では、弥生時代における環日本海交流に関する研究史の整理、松江市鹿島町における環日本海交流の具体像の確認を行い、今後の課題や論点を共有した。第2回検討会では、環日本海交流に関する研究史を古墳時代まで整理するとともに、先行研究で提示されている交流様相の確認や北部九州博多湾からみた山陰の状況を確認し、環日本海交流における研究状況についてさらに理解を深めた。また、環日本海交流の具体事例として、島根県域の外来系資料について整理するほか、弥生時代の日本海沿岸部出土の鉄剣について様相の把握を行った。また、県内外の環日本海交流に関する出土遺物の資料調査を適宜実施した。

[担当者] 今福、吉松、廣江、松尾、深田、東森、宮本

[客員研究員] 井上主税（関西大学）、野島 永（広島大学）、平郡達哉（島根大学）、森本幹彦（福岡市）

[指導者] 赤澤秀則（松江市立鹿島歴史民俗資料館）

③ 客員共同検討会

第1回客員共同検討会（2024年11月20日 於：埋蔵文化財調査センター）

池淵俊一「弥生・古墳時代の環日本海交流に関する近年の研究動向」

今福拓哉「島根県域における環日本海交流に関する研究動向」

平郡達哉「韓国考古学における環日本海交流研究の動向」

赤澤秀則「松江市鹿島地域における環日本海交流」

参加者：客員研究員4名、指導者1名、県職員11名

第2回客員共同検討会（2025年2月27・28日 於：埋蔵文化財調査センター）

松尾充晶「古墳時代の環日本海交流に関する論点整理」

森本幹彦「北部九州における弥生時代後半期の環日本海交流に関する研究動向」

野島 永「弥生墳丘墓の造営と対外交渉をめぐって」

宮本正保「島根県域への搬入資料について」

今福拓哉「日本海沿岸地域における弥生鉄剣の諸相」

参加者：客員研究員4名、指導者1名、県職員11名

④ 資料調査等

2024年4月15日 平ノ前遺跡出土資料 島根県埋蔵文化財調査センター

2024年8月24・25日 第15回九州考古学会・嶺南考古学会合同考古学大会参加

2024年9月13日 松江市上野Ⅱ遺跡出土資料 島根県埋蔵文化財調査センター

2024年9月27日 海士町竹田遺跡出土資料 島根県立古代出雲歴史博物館

2024年10月3日 広島県広島市梨ヶ谷遺跡出土資料 公益財団法人広島市文化財団

2024年10月3日 広島県福山市城山A遺跡出土資料、法成寺サコ遺跡出土資料

2024年10月18日 出雲市西谷墳墓群出土資料 出雲弥生の森博物館

2024年10月31日～ 11月 1日 京都府京丹後市 金谷古墳群出土資料、赤坂今井墳丘墓出土資料、
左坂古墳群出土資料、太田・下後古墳群出土資料、古天王古墳群出土資料
京丹後市立古代の里資料館

2024年12月 6日 広島県広島市西願寺遺跡出土資料 広島県立歴史民俗資料館

2024年12月18日 鳥取県鳥取市松原 1号墓出土資料、里仁墳墓群出土資料 鳥取市埋蔵文化財センター

2025年 1月17日 鳥取県鳥取市糸谷古墳群出土資料 鳥取市因幡万葉歴史館

(6) 平安時代中期の国制と山陰地域

① 目的

研究が手薄な平安時代の出雲・石見・隠岐を中心とする山陰地域の様相を、以下の3点に着目して考察する。

①「内」からみる出雲・石見・隠岐：平安時代は税の体系がヒトから土地へと変化し、税の収取のために国司（国守）が強大な権限を有して地方支配を行うなど、律令制が再編されつつも、やがて全国が荘園化し、中世へとむかう時代である。出雲・石見・隠岐にかかわる六国史や古記録、古文書などの平安時代の史料、当該期の遺跡の分布状況や発掘調査成果などから、以上のような全国的傾向が出雲・石見・隠岐ではどうだったのかを確認する。とりわけ、出雲においては、神賀詞奏上を行う出雲国造や国造が仕える杵築大社（出雲大社）が存在し、これらの存在が他国と何らかの違いを生んだのかどうかを検討する。②「外」からみる出雲・石見・隠岐：平安時代は唐の衰退・滅亡から、遣唐使の派遣はなくなるものの、唐や唐滅亡後の宋、朝鮮半島の新羅などの海商、さらには海商的性格をもつ渤海使を通じ、ヒト・モノ・情報がさかんに行き来する一方、刀伊の入寇に代表されるように対外的危機も常に孕む時代であった。日本海西部に位置する出雲・石見・隠岐は対外交流の窓口、対外的危機の前線ともいえ、交流や危機に際し、どのような対応をとり、それが地域にどのような影響を与えたのか、東アジアの情勢や日本海地域の地理的特性を踏まえつつ検討する。③出雲・石見・隠岐の「国風文化」：「国風文化」論については「唐物」に代表される中国文化の影響力の問題など、近年その性格が盛んに議論されている。出雲・石見・隠岐は他国と同様、国司やその従者の下向など、都鄙間交通を通じ、京から文化が流入する一方、日本海を利用し訪れる海商らを通じ、海外の文化に触れる機会のある地域でもあった。県内の遺跡から出土する平安時代の資料や現存する平安時代の美術作品などから、出雲・石見・隠岐の「国風文化」を検討するとともに、先述の「国風文化」論についても考える。

② 活動概要

研究1年目の今年度は、検討会を2回実施した。第1回検討会では、平安時代中期の国制と山陰地域に関する研究史の整理、出雲国府周辺の発掘調査成果、出雲の受領にかかわる文献史料の集成を行い、今後の課題や論点を共有した。第2回検討会では、石見地域の発掘調査成果や島根県の経塚の特徴などについて確認し、意見交換を行った。また、県内出土遺物の資料調査を適宜実施した。

[担当者] 吉永壮志、廣江耕史、橋本剛、野々村安浩、榊原博英、守岡正司、濱田恒志、田中昇一

[客員研究員] 大日方克己（島根大学）、佐藤全敏（東京女子大学）、高橋照彦（大阪大学）、
山内晋次（神戸女子大学）

③ 検討会

第1回検討会（2024年10月12・13日 於：島根県古代文化センター）

吉永壮志「平安時代中期の国制と山陰地域に関する研究の現状と課題」

廣江耕史「考古資料から見た平安中期の様相―出雲国府と周辺の遺跡を中心として―」

吉永壮志「文献資料から見た平安中期の出雲国府の様相」

参加者：客員研究員4名、県職員9名

第2回検討会（2025年3月1・2日 於：島根県古代文化センター）

榊原博英「平安時代の石見（1）―考古学成果から―」

吉永壮志「平安時代の国司襲撃事件―石見を理解する前提として―」

橋本 剛「平安時代中期の出雲国司と公文勘会の一断面」

廣江耕史「島根県の経塚について」

参加者：客員研究員4名、県職員10名

④ 資料調査等

2024年12月19日 大田市白環遺跡出土資料、旧大代小学校（大田市）

2025年3月3日 出雲国府跡出土施釉陶器等、島根県埋蔵文化財調査センター（松江市）

〔3〕古代歴史文化に関する共同調査研究（8県連携：古代歴史文化協議会）

(1) 目的

古代歴史文化にゆかりの深い14県が互いに連携して、個々の地域的な研究だけでは見えにくかった日本の大きな古代史の流れを解明することを目的に、平成26年に古代歴史文化協議会を設立。以来、共同で調査研究を行い、その成果を生かしてシンポジウムや展覧会などを開催し、全国に向けて情報発信を行っている。

(2) 活動概要

島根県知事が協議会会長をつとめており、島根県古代文化センターは協議会事務局として活動の総務を担当する。平成26～30年度は研究テーマを「古墳時代の玉類」とし、平成30年度には成果図書の刊行、展覧会の開催などを行った。令和元～4年度は「古墳時代の刀剣類」をテーマとして、第2期の共同調査研究を行い、令和4年度に成果図書の刊行、展覧会の開催などを行った。昨年度からは体制を8県に改めて、テーマを「古墳時代の中央と地域」として、共同調査研究を行っている。今年度の活動内容は以下のとおり。

(3) 事業内容

① 研究集会

第18回研究集会（2024年8月6日～8月7日、鳥取県庁第2庁舎、青谷かみじち史跡公園）

基調講演、各県報告、運営会議

参加職員 間野、平石、今福、金崎、池淵、吉松

② 担当者Web会議

必要に応じてWeb会議による協議、意見交換をおこなった。

第13回担当者Web会議（2024年5月9日）運営体制、事業計画、講演会の協議

第14回担当者Web会議（2024年7月2日）講演会の協議、第4期事業の検討

第15回担当者Web会議（2024年9月24日、27日）第4期事業の検討、協議

第16回担当者Web会議（2025年1月30日）第4期事業の検討、協議

第17回担当者Web会議（2025年3月14日）第4期事業の検討、協議

③ 第7回古代歴史文化講演会

第3期の共同調査研究の成果を広く発信するために「第7回古代歴史文化講演会」を開催。

第7回古代歴史文化講演会

日 時 2024年12月8日（日）

会 場 明治大学アカデミーホール（東京都千代田区）

主 催 古代歴史文化協議会

共 催 明治大学国際日本古代学研究クラスター

内 容 基調講演「古墳時代の東国と倭王権」 若狭 徹氏（明治大学教授）

各県報告 奈良県「巨大古墳の規模と分布に見る倭王権の発達過程」

小栗明彦氏（奈良県立橿原考古学研究所）

佐賀県「銅鏡からみた弥生・古墳時代の佐賀県域」

村松洋介氏（佐賀県文化課文化財保護・活用室）

埼玉県「銅鏡からみた埼玉県の古墳時代」 中井 歩氏（埼玉県立さきたま史跡の博物館）

島根県「出雲の前方後方墳」 吉松優希（島根県古代文化センター）

鳥取県「因幡最大の前方後方墳（古海36号墳の発掘調査）」

森本倫弘氏（鳥取県埋蔵文化財センター）

宮崎県「墳墓からみた日向の古墳時代前半期」 甲斐貴充氏（宮崎県埋蔵文化財センター）

岡山県「鉄生産に関わる品々が出土する古墳の分布」

藤井雅大氏（岡山県古代吉備文化財センター）

和歌山県「埋葬施設からみた和歌山県域の古墳の中央・地域関係」

上村 緑氏（和歌山県立紀伊風土記の丘）

参加者数 868人

（間野・平石・今福・金崎・吉松）

④ 令和5年度古代歴史文化協議会研究中間報告

オンライン配信 2024年3月25日～ 視聴者数15,363人 視聴回数21,009回（配信後90日間）

■古代文化情報発信事業

〔1〕各種講座・シンポジウム

(1) 島根の歴史文化講座※会場はいずれも松江テルサ

① テーマ「もっと知りたい島根の歴史」

第1講「出雲の大型古墳 国の史跡指定100年 東西出雲の王」

講師：松江市埋蔵文化財調査課 永野智朗氏・出雲弥生の森博物館 黒田祐介氏

日時：9月29日（日） 会場参加187人

オンライン配信 2024年11月7日～ 視聴者数4,132人 視聴回数6,538回（配信後90日間）

第2講「城と城下町ー出雲の戦国時代」

講師：八雲立つ風土記の丘 高屋茂男氏・廣江耕史

日時：10月27日（日） 会場参加161人

オンライン配信 2024年11月28日～ 視聴者数1,831人 視聴回数2,662回（配信後90日間）

第3講「古代出雲の謎に迫る」

講師：日本大学教授 武廣亮平氏

日時：11月24日（日） 会場参加176人

オンライン配信 2025年1月14日～ 視聴者数5,185人 視聴回数7,791回（2月28日現在）

第4講「知られざる古代出雲ー「光る君へ」の時代ー」

講師：吉永壮志

日時：12月8日（日） 会場参加146人

オンライン配信 2025年2月24日～ 視聴者数764人 視聴回数1,024回（2月28日現在）

(2) 隠岐国巡回講座

① 第26回講座「誕生、隠岐の国」 講師：平石 充

4月21日 海士町隠岐開発総合センター 会場参加21人

オンライン配信 2024年8月16日（月）～ 視聴者数843人 視聴回数1,221回（配信後90日間）

(3) 石見国巡回講座

① 第23回講座「柿本人麻呂における「触れる」ことー石見相聞歌の哲学ー」

講師：青山学院大学教授 小松靖彦氏

11月10日（日） 益田市立市民学習センター 会場参加25人

オンライン配信 2月26日～ 視聴者数77人 視聴回数165回（2月28日現在）

(4) 古代出雲文化シンポジウム（+オンライン配信・ケーブルテレビ放映）

① 六世紀の出雲とヤマトー出雲の大型古墳を語るー

11月17日（日） 東京有楽町朝日ホール 会場参加575人（応募多数により抽選）

基調講演「東西出雲の統一過程とヤマト王権」 国立歴史民俗博物館教授 仁藤敦史氏

報告1「古墳が語る出雲の六世紀史」松尾充晶

報告2「畿内における欽明朝長前後の古墳築造」大阪大学大学院教授 高橋照彦氏

報告3「筑紫の後期古墳からみた磐井の乱とミヤケの設置」福岡大学教授 桃崎祐輔氏

パネルディスカッション「六世紀の大型古墳を語る」

パネラー：松尾充晶・高橋照彦氏・桃崎祐輔氏 司会：仁藤敦史氏

オンライン配信 2025年3月5日～

県内ケーブルテレビ放映 2025年3月予定

〔2〕刊行物その他

(1) 刊行物

- ① 『古代文化研究』第33号 2025年3月刊 A4版
- ② 『しまねの古代文化』第32号 2025年3月刊 A5版
- ③ 古代文化センター研究論集第34集『島根県域における弥生社会の総合的研究』 2025年3月刊行 A4版
- ④ 古代文化センター研究論集第35集『中世山陰の戦争と地域社会』 2025年3月刊行 A4版
- ⑤ 調査研究報告書第59集『島根県西川津遺跡出土品』2 2025年3月刊行 A4版
- ⑥ 『出雲国風土記』2025年3月刊行 四六判

(2) オンライン情報発信 (<https://shimane-kodaibunka.jp/> 数字はいずれも2月28日現在)

古代文化センターHP「歴史文化しまね」では定期的なコンテンツの更新を実施、講座・シンポジウムの動画の視聴ができる。訪問者数52,604人、訪問回数111,265回

- ① 連載コラム「いまどき島根の歴史」 島根県の歴史文化に関するトピックを取りあげた1000文字程度の読み物。計40本のコラムを掲載した。
- ② ブログ「研究員の日記」日常の調査研究での出来事や、こぼれ話などに関する日記風の読み物 計10件の投稿をおこなった。
- ③ 動画「しまこだチャンネル」ストーリー性のある5～10分間程度の動画で、インターネット上の動画サイトで公開
今年度末の時点で、「出雲の大型古墳指定100年」「徹底取材！石見の古代史」の計2本を公開した。

(3) その他の情報発信

- ① 山陰中央新報への記事提供（2月末日現在）
「いまどき、島根の歴史」（火曜日文化欄に連載）
2024年4月2日（第299号）～2025年2月25日（第339号）の計41本掲載。現在継続中。

〔3〕古代歴史文化賞後継事業

(1) しまねの古代文化連続講座 ※会場はいずれも東京日比谷コンベンションホール

- ① 第1講「古墳出現以前のしまね」 講師：今福拓哉
日時：7月27日（土） 会場参加191人 オンライン配信 2025年3月予定
- ② 第2講「山陰における大型古墳築造開始の背景と意義」 講師：島根大学准教授 岩本崇氏
日時：8月25日（日） 会場参加200人 オンライン配信 2025年3月予定
- ③ 第3講「6世紀～7世紀の石見・出雲」 講師：松江市文化スポーツ部文化財コーディネーター 丹羽野裕氏
日時：9月28日（土） 会場参加197人（応募多数により抽選） オンライン配信 2025年3月予定

(2) しまねの古代文化探訪ツアー

- ① 「島根県最大の前方後円墳「スクモ塚古墳」と古代出雲の史跡をじっくりめぐる」10月8日～10日（参加人数17人）・12月11日～13日（参加人数15人） 見学地：スクモ塚古墳・鶴の鼻古墳群・山代二子塚古墳・八雲立つ風土記の丘・古代出雲歴史博物館・出雲弥生の森博物館・大念寺古墳ほか
- ② 「『万葉集』の歌聖 柿本人麻呂ゆかりの地へ」10月22日～24日（参加人数18人） 見学地：高津柿本神社・大崎鼻灯台・物部神社・石見銀山・萬福寺・津和野城ほか

〔4〕令和5年度開催のシンポジウム・講演のオンライン視聴者数・視聴回数（いずれも配信後90日間）

(1) しまねの歴史文化講座「どこかで誰かに話したくなる島根の歴史」

- ① 第1講「ここまでわかった『出雲国風土記』」 講師：橋本 剛
オンライン配信 2023年9月28日～ 視聴者数92,007人 視聴回数130,673回
- ② 第2講「なべとかま」 講師：鳥谷智文氏
オンライン配信 2023年10月23日～ 視聴者数2,905人 視聴回数3,696回
- ③ 第3講「鏡からみた古墳時代のはじまりと山陰」 講師：島根大学准教授 岩本崇氏
オンライン配信 2023年12月25日～ 視聴者数34,408人 視聴回数52,982回

- ④ 第4講「島根にはじまる明治維新」 講師：岡宏三・矢野健太郎
オンライン配信 2023年1月18日～ 視聴者数2,622人 視聴回数3,434回
- (2) 第25回隠岐国巡回講座「後鳥羽上皇と隠岐」
講師：田村 亨 オンライン配信 2023年10月30日～ 視聴者数3,372人 視聴回数4,466回
- (3) 第22回講座「海の武士・都野氏と江津・都野津」
講師：東京大学史料編纂所准教授 西田友広氏 オンライン配信 2023年12月21日～
視聴者数1,600人 視聴回数2,029回
- (4) 古代出雲文化シンポジウム「出雲国風土記を読み解く」
基調講演「古代出雲と律令国家」 講師：東京大学名誉教授 佐藤信氏
報告1「出雲国造の神話と思想」 講師：明治大学准教授 伊藤剣氏
報告2「『常陸国風土記』VS『出雲国風土記』」 講師：千葉大学教授 兼岡理恵氏
パネルディスカッション「出雲国風土記を読み解く」
パネラー：伊藤剣氏・兼岡理恵氏・平石充 司会：佐藤信氏
オンライン配信 2024年1月30日～ 視聴者数30,948人 視聴回数40,576回（基調講演・報告・パネルディスカッションの合計）
- (5) しまねの古代文化連続講座
- ① 第1講「石見の人麻呂と大和の人麻呂」 講師：山陰万葉を歩く会会長 川島美美子氏
オンライン配信 2024年4月24日～ 視聴者数852人 視聴回数1075回
- ② 第2講「防人の歌」 講師：大谷雅夫氏
オンライン配信 2024年4月24日～ 視聴者数598人 視聴回数777回
- ③ 第3講「柿本人麻呂と世界文学」 講師：青山学院大学教授 小松靖彦氏
オンライン配信 2024年4月24日～ 視聴者数883人 視聴回数1086回

古代文化センター職員の研究・普及活動

間野 大丞（考古学）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史316「学生服の陶製ボタン」『山陰中央新報』 2024年8月13日
- ② いまどき島根の歴史325「淀原焼新たなステージ」『山陰中央新報』 2024年10月29日
- ③ いまどき島根の歴史333「新年を寿ぐ石見焼」『山陰中央新報』 2025年1月7日
- ④ 調査コラム第47回「往復書簡 ―柳宗悦と太田直行―」松江市ホームページ 2025年1月10日
- ⑤ 共著 「石見銀山遺跡の墓石」『日引』19号 石造物研究会 2024年6月1日
- ⑥ 「未来に残したい石見焼のはんど」『季刊文化財』160 2025年3月

(3) 学会発表・講演等

- ① 旧堀氏庭園名勝指定20周年記念事業委員会総会「旧堀氏庭園の名勝指定の価値と活用」津和野町民センター 2024年7月19日 参加22名
- ② 月イチガク「墓場放浪記～墓と石の旅路を追って～」さんべ縄文の森ミュージアム2024年8月17日 参加12名

平石 充（古代史）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史307「あせりが池と止屋淵」『山陰中央新報』 2023年6月4日掲載
- ② いまどき島根の歴史317「写本の文字改変で起こる問題」『山陰中央新報』 2024年8月20日掲載
- ③ いまどき島根の歴史330「国堺の関所はどちらの国にあったか」『山陰中央新報』 2024年12月3日掲載
- ④ いまどき島根の歴史339「馬見烽はどこか」『山陰中央新報』 2025年3月4日掲載
- ⑤ 「意宇郡の郡司国造出雲氏の西遷」『出雲の歴史と地域文化』いずも財団 2025年2月28日
- ⑥ 「文献にみる山代郷南新造院」『山代郷南新造院発掘調査報告書』松江市教育委員会 2025年3月
- ⑦ 「『出雲国風土記』からみた結西谷IV遺跡」『結西谷IV遺跡・結本谷古墳群』出雲市教育委員会 2025年3月

(2) 研究報告等

- ① 基礎研究 風土記調査事業 「『出雲国風土記』写本、蓬左文庫本と細川家本の位置づけをめぐって」 2024年9月12日
- ② テーマ研究 律令制下における地方行政の研究 第3回研究会「8・9世紀の出雲臣」 2025年3月16日

(3) 学会発表・講演等

- ① 第26回隠岐国巡回講座「誕生！隠岐国」海士町隠岐総合開発センター 4月21日 参加21名
- ② 荒神谷博物館第220回定例講演会「古代の出雲郡出雲郷―『出雲国風土記』とそれ以後を中心に―」 荒神谷博物館 2024年5月18日 参加37名
- ③ 島根県建設技術協会特別会研修「島根県内の古代山陰道」 松江エクセルホテル東急 2024年5月23日 参加者91名

(5) 外部委員・講師等

- ② 島根大学ジオパーク学各論講師 「『出雲国風土記』とジオパーク」 島根大学 2024年12月16日

(7) 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「奈良時代の内中原小学校」 松江市立内中原小学校 2024年7月2日

目次 謙一（中世史）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史303「松江 和久羅城と軍船の連携」『山陰中央新報』 2024年5月7日
- ② いまどき島根の歴史311「朝廷へ上納された石見銀山の銀」『山陰中央新報』 2024年7月2日
- ③ いまどき島根の歴史322「海城で軍船から浦守る」『山陰中央新報』 2024年10月1日

- ④ いまどき島根の歴史331「境目の城で続いた領主間の対立」『山陰中央新報』 2024年12月10日
- ⑤ 「コラム 「城」を指すさまざまな言葉」『企画展図録 山陰の戦乱―月山富田城の時代―』 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年10月
- ⑥ 「永禄・元亀年間の出雲国における軍船の諸様相」『中世山陰の戦争と地域社会』島根県古代文化センター研究論集第35集 島根県古代文化センター 2025年 3月
- ⑦ 「史料紹介 吉見頼盛書状」『中世山陰の戦争と地域社会』同上

(2) 研究報告等

- ① テーマ研究 鋳物と鋳物師の研究 第5回検討会「中世の鋳物師「大工」と鋳造工程・製品」 2024年 9月 6日
- ② テーマ研究 鋳物と鋳物師の研究 第6回検討会「大正期櫻井家の鋳造業の変遷と製品」 2025年 3月20日

(3) 学会発表・講演等

- ① 令和6年度鋳造技術者初級研修事業「たたら製鉄と山陰の鋳物師」 島根県職員会館 2024年10月4日 参加17名

(4) 展示活動

- ① 副担当 企画展「山陰の戦乱―月山富田城の時代―」 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年10月1日

矢野 健太郎（近世史）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「「越境趣意」にみる幕末長州藩の情報戦略」『石見銀山研究』4 2024年11月
- ② いまどき島根の歴史299 「津和野藩主 酒井出羽守」『山陰中央新報』2024年 4月2日
- ③ いまどき島根の歴史306 「あなたはどっち？「乱」それとも「一揆」」『山陰中央新報』2024年 5月28日
- ④ いまどき島根の歴史318 「幕末を生きたある僧の選択」『山陰中央新報』2024年 8月27日
- ⑤ いまどき島根の歴史327 「銀が世界を丸くした」『山陰中央新報』2024年11月12日
- ⑥ いまどき島根の歴史339 「幕末長州藩の政治宣伝」『山陰中央新報』2025年 2月25日

(2) 研究報告等

- ① テーマ研究 幕末維新期の島根における地域社会の変容 第3回検討会「明治初期浜田県における諸課題―「浜田県歴史」の記事から―」 2024年 8月3日
- ② テーマ研究 幕末維新期の島根における地域社会の変容 第4回検討会「明治初期浜田県における租法の変容」 2025年 2月9日

(3) 学会発表・講演等

- ① 島根史学会「亀井政矩の津和野移封における武具引渡をめぐって」 島根県民会館 20名 2024年 9月14日

(7) 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「奈良時代と奈良の大仏」 松江市立恵曇小学校 2024年 7月4日

吉永 壮志（古代史）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「『出雲国風土記』の校訂について」『出雲古代史研究』34 出雲古代史研究会 2024年 8月24日
- ② 「博物館における文字資料の展示―福井県立若狭歴史博物館・島根県立古代出雲歴史博物館の事例から―」『古代文化研究』33 島根県古代文化センター 2025年 3月31日
- ③ いまどき島根の歴史308「清少納言記した？「たまつくりの湯」」『山陰中央新報』 2024年 6月11日
- ④ いまどき島根の歴史323「新紙幣のデザインと駅舎」『山陰中央新報』 2024年10月 8日
- ⑤ いまどき島根の歴史335「隠岐の流人・平致頼」『山陰中央新報』 2025年 1月21日
- ⑥ 出雲古代史研究会いずもけんブログ「日本海地域と渤海使 第1回」 出雲古代史研究会 2024年 5月26日
- ⑦ 出雲古代史研究会いずもけんブログ「日本海地域と渤海使 第2回」 出雲古代史研究会 2024年 6月23日
- ⑧ 出雲古代史研究会いずもけんブログ「日本海地域と渤海使 第3回」 出雲古代史研究会 2024年 7月21日
- ⑨ 出雲古代史研究会いずもけんブログ「日本海地域と渤海使 第4回」 出雲古代史研究会 2024年 8月18日

- ⑩ 出雲古代史研究会いずもけんブログ「日本海地域と渤海使 第5回番外編」 出雲古代史研究会 2024年9月15日
- ⑪ 共著 島根県古代文化センター編『出雲国風土記』 島根県教育委員会 2025年3月31日
- ⑫ 共著 「調査報告 出雲国風土記写本の研究(21)」『古代文化研究』33 島根県古代文化センター 2025年3月31日

(2) 研究報告等

- ① テーマ研究 平安時代中期の国制と山陰地域 第1回検討会「平安時代中期の国制と山陰地域に関する研究の現状と課題」 2024年10月12日
- ② テーマ研究 平安時代中期の国制と山陰地域 第1回検討会「文献資料から見た平安中期の出雲国府の様相」 2024年10月12日
- ③ テーマ研究 平安時代中期の国制と山陰地域 第2回検討会「平安時代の国司襲撃事件－石見を理解する前提として－」 2025年3月1日

(3) 学会発表・講演等

- ① 島根の歴史文化講座「知られざる古代出雲－「光る君へ」の時代－」 松江テルサ 2024年12月8日

(7) 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「奈良の大仏と古代の飯梨について」 安来市立飯梨小学校 2024年7月3日

石山 祥子（民俗学）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史302「梅の栞の話」『山陰中央新報』 2024年4月30日
- ② いまどき島根の歴史310「民俗芸能の維持」『山陰中央新報』 2024年6月25日
- ③ いまどき島根の歴史321「出雲神楽の取次業者」『山陰中央新報』 2024年9月24日
- ④ いまどき島根の歴史334「出雲神楽特徴「子どもの舞」」『山陰中央新報』 2025年1月14日
- ⑤ いまどき島根の歴史341「荒川亀斎の蛇頭」『山陰中央新報』 2025年3月11日
- ⑥ 「Jagashira in Shimane prefecture」『MINPAKU Anthropology Newsletter』第58号 国立民族学博物館 2024年夏
- ⑦ 「島根県民俗芸能調査事業の概要」『季刊文化財』159号 島根県文化財愛護協会 2024年10月
- ⑧ 映像「唐川の獅子舞」記録編 島根県古代文化センター 2025年3月

(3) 学会発表・講演等

- ① 島根県神社庁教化委員会出雲部会 講演「出雲神楽について」 2024年8月25日 島根県神社庁 参加35名
- ② 日本民俗音楽学会出雲大会シンポジウム 報告「出雲神楽の〈式三番〉について」 2024年12月15日 松江テルサ 参加64名

(5) 外部委員・講師等

- ① 松江市文化財保護審議会委員 2021年9月～
- ② 松江市文化財保存活用地域計画協議会委員 2023年4月～
- ③ 広島県民俗芸能緊急調査詳細調査員 2024年8月～

(7) 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「古代の人々の生活（お金）と和同開珎作り」 松江市立揖屋小学校 2024年6月19日

橋本 剛（古代史）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史304「配流地・隠岐への道」『山陰中央新報』 2024年5月14日
- ② いまどき島根の歴史319「石見国司と上級貴族」『山陰中央新報』 2024年9月3日
- ③ いまどき島根の歴史329「聖武天皇の即位と「出雲国風土記」」『山陰中央新報』 2024年11月26日
- ④ いまどき島根の歴史343「東西南北」の交通路」『山陰中央新報』 2025年3月25日

- ⑤ 「古代「山陰道」成立考」『古代文化研究』33 2025年3月31日
- ⑥ (共著) 島根県古代文化センター編『出雲国風土記』 2025年3月31日

(2) 研究報告等

- ① 基礎研究 大原郡の研究 第3回検討会「大原郡の「郡的世界」—『出雲国風土記』郡司記載の分析を中心に—」 2024年9月12日
- ② テーマ研究 平安時代中期の国制と山陰地域 第2回検討会「平安時代中期の出雲国司と公文勘会の一断面」 2025年3月1日
- ③ テーマ研究 律令制下における地方行政の研究 第4回検討会「『出雲国風土記』からみた郡司と「郡的世界」」 2025年3月16日

(5) 外部委員・講師等

- ① 島根県立大学非常勤講師 2024年10月～2025年3月

(7) 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「奈良時代の意東小学校周辺と奈良の大仏」 松江市立意東小学校 2024年7月5日

今福 拓哉(考古学)

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史315「島根近海のニホンアシカ」『山陰中央新報』 2024年8月6日
- ② いまどき島根の歴史324「弥生時代の「墳丘墓」」『山陰中央新報』 2024年10月22日
- ③ いまどき島根の歴史337「多様な墳丘形態からみたしまねの弥生社会」『山陰中央新報』 2025年2月4日
- ④ 「日本海沿岸地域の弥生時代鉄剣—短茎短剣の様相把握を中心として—」『古代文化研究』33号 島根県古代文化センター 2025年3月31日
- ⑤ 「島根県域における弥生墓制の展開」『島根県域における弥生社会の総合的研究』島根県古代文化センター研究論集第34集 島根県古代文化センター 2025年3月31日

(2) 研究報告等

- ① テーマ研究 環日本海の考古学的研究 第1回検討会「島根県域における環日本海交流に関する研究動向」 2024年11月20日
- ② テーマ研究 環日本海の考古学的研究 第2回検討会「日本海沿岸地域における弥生鉄剣の諸相」 2025年2月28日

(3) 学会発表・講演等

- ① 令和6年度しまねの古代文化連続講座第1回「古墳出現以前のしまね」 日比谷コンベンションホール 2024年7月27日

(5) 外部委員・講師等

- ① 島根大学法文学部山陰研究センター客員研究員 2022年6月～2025年3月

(7) 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「古代人の暮らしを体験してみよう！～来待地区周辺の遺跡と和同開珎作り～」 松江市立来待小学校 2024年7月5日

吉松 優希(考古学)

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史301「出雲の前方後方墳」『山陰中央新報』 2024年4月16日
- ② いまどき島根の歴史313「弥生時代の金床石」『山陰中央新報』 2024年7月23日
- ③ いまどき島根の歴史320「装飾付大刀の意味」『山陰中央新報』 2024年9月17日
- ④ いまどき島根の歴史338「脇殿の役割」『山陰中央新報』 2025年2月18日
- ⑤ いまどき島根の歴史342「象嵌の技法」『山陰中央新報』 2025年3月18日
- ⑥ 「安来地域の前期古墳出土鉄剣・ヤリについて」『古代文化研究』33号 島根県古代文化センター 2025年3月

月31日

- ⑦ 「石器（砥石）からみた出雲地域の鉄器普及」『島根県域における弥生社会の総合的研究』島根県古代文化センター研究論集第34集 島根県古代文化センター 2025年3月31日
- ⑧ 共著 「島根県立古代出雲歴史博物館館蔵資料の紹介」『中世山陰の戦争と地域社会』島根県古代文化センター研究論集第35集 島根県古代文化センター 2025年3月31日
- ⑨ 共著 『荒神谷発見！』島根県立古代出雲歴史博物館 2024年7月12日
- ⑩ 「山陰中西部」『中期古墳編年を再考する』六一書房 2024年10月18日
- ⑪ 共著 『宇治西Ⅲ遺跡』雲南市教育委員会 2025年3月31日
- ⑫ 「堀部1号墳」『中四研だより』55号 2025年3月31日

(2) 研究報告等

- ① テーマ研究 島根の前期古墳 第6回検討会「堀部1号墳発掘調査報告」 2025年3月7日
- ② テーマ研究 島根の前期古墳 第6回検討会「古墳時代前期の鹿島地域」 2025年3月7日

(3) 学会発表・講演等

- ① 第601回風土記の丘教室「出雲の前方後方墳」 島根県立八雲立つ風土記の丘 2024年4月13日 参加60名
- ② 日本考古学協会2024年度島根大会「武器・馬具からみた古墳時代後期の出雲地域」 島根大学 2024年10月19日・20日
- ③ 第2回雲南市歴史文化講座「装飾付大刀からみた古代出雲—宇治西Ⅲ遺跡出土の象嵌装大刀を中心に—」加茂交流センター 2024年11月10日 参加30名
- ④ 第7回古代歴史文化講演会「出雲の前方後方墳」 明治大学アカデミーホール 2024年12月8日 参加者868名
- ⑤ 第20回古代武器研究会「装飾付大刀の表徴性と地域社会—出雲地域をもとにして—」 滋賀県立大学 2024年12月21日・22日

(5) 外部委員・講師等

- ① 島根大学法文学部山陰研究センター客員研究員 2022年6月～2025年3月
- ② 考古学研究会全国委員 2023年4月～

(6) 調査指導・職員派遣等

- ① 雲南市教育委員会教育長 雲南市宇治西Ⅲ遺跡出土銀象嵌大刀の調査 2024年6月3日～12月28日
- ② 雲南市教育委員会教育長 雲南市宇治西Ⅲ遺跡出土大刀の記者発表 2024年11月1日
- ③ 雲南市教育委員会教育長 令和6年度雲南市歴史文化講座 2024年11月10日

(7) 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「古代人の暮らしを体験してみよう！～来待地区周辺の遺跡と和同開珎作り～」松江市立来待小学校 2024年7月5日

野々村 安浩（古代史）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史305「書類に印を押す」『山陰中央新報』 2024年5月21日
- ② いまどき島根の歴史328「僧を目指した出雲人」『山陰中央新報』 2024年11月19日
- ③ 共著 「調査報告 出雲国風土記写本調査（21）」『古代文化研究』33 2025年3月31日
- ④ 共著 島根県古代文化センター編『出雲国風土記』 2025年3月31日

(2) 研究報告等

- ① 基礎研究 大原郡の研究 第4回検討会「『出雲国風土記』大原郡の山・川記載について」 2025年3月18日

廣江 耕史（考古学）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史314「安土桃山時代の焼き物・唐津焼」『山陰中央新報』 2024年7月30日
- ② 「富田川河床遺跡出土の切銀」『山陰中央新報』 2024年10月16日
- ③ 共著 「富田川河床遺跡の銭貨、切銀について」『出土銭貨』 2024年12月

- ④ 「富田川河床遺跡出土の切銀」『石見銀山研究』第4号 2024年11月
- ⑤ 「コラム6 富田川河床遺跡の発掘調査」『山陰の戦乱―一月山富田城の時代―展示図録』 2024年10月

(2) 研究報告等

- ① テーマ研究 平安中期の国制と山陰地域 第1回検討会「考古資料から見た平安中期の様相」 2024年11月12日

(3) 学会発表・講演等

- ① 松江講座 城と城下町―出雲の戦国時代―「戦国時代の城下町、富田川河床遺跡について」2024年10月27日

榊原 博英（考古学）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史309「明治5年浜田地震石碑」『山陰中央新報』 2024年6月18日
- ② いまどき島根の歴史332「文字をもつ伝承者の記録」『山陰中央新報』 2024年12月17日
- ③ 「松江周辺の歴史災害」『松江文化情報誌 湖都松江』第49号 松江市文化協会 2025年3月26日
- ④ 共著 「石見焼工場の調査報告(1) ―建造物調査―」『古代文化研究』33 島根県古代文化センター 2025年3月31日

(2) 研究報告等

- ① テーマ研究 律令制下における地方行政の研究 第3回検討会「島根の古代地方官衙と関連遺跡(3)」 2024年9月14日
- ② テーマ研究 平安時代中期の国制と山陰地域 第2回検討会「平安時代の石見(1)―考古学的成果から―」 2025年3月1・2日
- ③ テーマ研究 律令制下における地方行政の研究 第4回検討会「島根の古代地方官衙と関連遺跡(4)」 2025年3月16日

(3) 学会発表・講演等

- ① 出雲古代史研究会第35回大会「島根における古代～中世前期の搬入土器と貿易陶磁」 2024年8月24日 参加者51名 オンライン42名

(7) 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「奈良時代の意東小学校周辺と奈良の大仏」 松江市立意東小学校 2024年7月5日

土橋 由奈（近現代史）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① いまどき島根の歴史312「近代島根の鋳物業」『山陰中央新報』 2024年7月9日
- ② いまどき島根の歴史336「明治時代、陸軍省所轄の松江城」『山陰中央新報』 2025年1月28日

(2) 研究報告等

- ① テーマ研究 幕末維新期の島根における地域社会の変容 第3回検討会「『陸軍省大日記類』にみる明治初期～20年代の松江城」 2024年8月3日
- ② テーマ研究 鋳物と鋳物師の研究 第5回検討会「明治後期～昭和10年代の島根県内鋳物工場の整理」 2024年9月6日

(7) 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「学校周辺の遺跡と奈良の大仏」 松江市立恵曇小学校 2024年7月4日

深田 浩（考古学）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「平所遺跡の管玉生産―出土品再整理の中間報告―」『島根県域における弥生社会の総合的研究』 島根県古代文化センター研究論集第34集 島根県古代文化センター 2025年3月31日

(3) 学会発表・講演等

- ① 出雲商業高校 歴史文化班 探究学習「古代出雲の謎を探る」 2024年 5月16日 参加13名
- ② 出雲高校プロフェッショナルセミナー「古代出雲歴史博物館と埋蔵文化財の仕事」 2024年11月14日 参加21名
- ③ 荒神谷博物館企画展講座「西川津遺跡の出土品を再整理してみた！」 2025年 1月25日 参加39名
- ④ 見る・知る・ふれる文化財講座「古墳時代のはじまりの頃の仁摩とその周辺」 仁万まちづくりセンター 2025年 2月22日 参加15名

(4) 展示活動

- ① 副担当 企画展「山陰の戦乱」 島根県立古代出雲博物館 2024年10月11日～12月 8日

(7) 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「奈良時代と奈良の大仏」 出雲市立荒木小学校 2024年 6月25日 64名
- ② 心に残る文化財子ども塾「奈良時代と奈良の大仏」 松江市立中央小学区 2024年 6月26日 48名
- ③ 神門コミュニティセンターこどもクラブ「出雲の銅鐸と銅鐸ペーパークラフトづくり」 2024年 7月24日 20名
- ④ 心に残る文化財子ども塾「奈良時代と奈良の大仏」 出雲市立朝陽小学区 2024年 9月12日 34名
- ⑤ 君谷公民館講座「古代出雲の玉づくりと勾玉づくり」 美郷町君谷公民館 2025年 1月31日 12名

松尾 充晶（考古学）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① コラム「蔵人の精神に学ぶ」『神社新報』第3676号 神社新報社 2024年 4月 1日
- ② 書評「『卑弥呼の鏡』が解く邪馬台国」『神社新報』第3698号 神社新報社 2024年 9月23日

(2) 研究報告等

- ① テーマ研究 環日本海の考古学的研究 第2回検討会「古墳時代の環日本海交流に関する論点整理」2025年 2月28日
- ② テーマ研究 鋳物と鋳物師の研究 第6回検討会「鉄穴流しによる地形改変と中世製鉄遺跡の立地」2025年 3月20日

(3) 学会発表・講演等

- ① 島根県神社庁大原支部春季神職研修会「江戸時代の人々の信仰」大東地域交流センター 2024年 5月19日 参加者24名
- ② 多伎コミュニティセンターまちづくり講演会「江戸時代の出雲信仰～神々はなぜ、出雲へ集うのか～」多伎コミュニティセンター 2024年 6月15日 参加者45名
- ③ 湖陵コミュニティセンター歴史講演会「悠久の古代出雲～その歴史文化の魅力～」湖陵コミュニティセンター 2024年 7月28日 参加者36名
- ④ 神道政治連盟島根県本部出雲市議会議員連絡協議会研修会「変容する神話・喧伝される神話」ニューウェルシティ出雲 2024年 7月23日 参加者21名
- ⑤ 神門通りおもてなし協同組合研修会「神在信仰と江戸時代の大社町」古代出雲歴史博物館 2024年 9月17日 参加者24名
- ⑥ 松江県域地方機関研修会「神話が息づく出雲の魅力」島根県東部県民センター 2024年 9月20日 参加者35名
- ⑦ 退職公務員連盟退社支部研修会「江戸時代の大社信仰」大社コミュニティセンター 2024年10月22日 参加者21名
- ⑧ 島根県青色申告会連合会女性部研修会「出雲へ集う神々と人々」古代出雲歴史博物館 2024年10月24日 参加者51名
- ⑨ 古代出雲文化シンポジウム「六世紀の出雲とヤマトー出雲の大型古墳を語るー」有楽町朝日ホール 2024年11月17日
- ⑩ くにびき学園東部校講義「出雲地域の神話と信仰」いきいきプラザ 2025年 1月31日 参加者24名

(4) 展示活動

- ① 主担当 ミニ企画「屋根裏のオフダ」 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年5月22日～7月15日
- ② 副担当 企画展「誕生、隠岐国」 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年3月22日～5月19日
- ③ 副担当 企画展「荒神谷発見！ー出雲の弥生文化ー」 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年7月12日～9月8日

岡 宏三（近世史）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「湊原をめぐる絵図の解明」『大社の史話』第219号 2024年7月8日
- ② 「松江藩の時献上と鱸島のブリ」『大社の史話』第220号 2024年10月15日
- ③ 「出雲の「龍蛇さん」悠久なる南洋との交流」公明新聞 2025年1月10日

(3) 学会発表・講演等

- ① 島根県立図書館定例講座「古文書を読む会」 島根県立図書館 毎月第一金曜日 定員35名
- ② 島根県技能士連合会「出雲大社造営と森林資源」 松江ニューアーバンホテル 2024年8月28日 参加者25名
- ③ 第3回いづも財団公開講座「出雲大社の寛文造営と神仏分離」 大社文化プレイスうらら館 2024年10月5日 参加者120名
- ④ 第60回天台宗布教師会中国四国地区評議会研修会「奈良平安時代の疫病・気候変動がもたらした社会変化」 ホテルモナーク鳥取 2024年10月7日 参加者35名
- ⑤ 島根県敬神婦人会出雲部会「浮世絵からヲロチ退治の謎を解く」 カルチャープラザ仁多 2024年10月10日 参加者120名
- ⑥ 歴博入門講座「今さら聞けない出雲大社の歴史」 古代出雲歴史博物館 2025年1月18日 参加者56名

(4) 展示活動

- ① 主担当 ミニ企画「ダイコクさん」 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年11月20日～2025年3月31日

(5) 外部委員・講師等

- ① 島根県立図書館古文書の会講師
- ② 出雲市文化財保護審議会委員 2005年4月～
- ③ いづも財団助成事業審査委員 2014年4月～

中川 寧（考古学）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① 編集執筆 企画展図録「荒神谷発見！ 出雲の弥生文化」 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年7月12日
- ② 「最近の山陰における弥生時代の論文と報告書」『島根県域における弥生社会の総合的研究』 島根県古代文化センター研究論集第34集 島根県古代文化センター 2025年3月31日
- ③ 「島根県における弥生時代中期から古墳時代前期にかけての土器編年のまとめ」 島根県古代文化センター研究論集第34集 島根県古代文化センター 2025年3月31日

(4) 展示活動

- ① 副担当 企画展「誕生、隠岐国」 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年3月22日～5月19日
- ② 副担当 企画展「荒神谷発見！ 出雲の弥生文化」 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年7月12日～9月8日

(7) 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「奈良時代と奈良の大仏」 大田市立温泉津小学校 2024年6月5日 参加者16名
- ② 出前講座 大仏パネル作成 島根県盲学校 2025年2月28日 参加者5名
- ③ ブロンズネットワークリレー講座「青銅器を埋めた場所ー埋納地から考えるー」 2025年3月8日 参加者15名

久保田 一郎（古代史）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① 分担執筆 企画展図録『山陰の戦乱－月山富田城の時代－』 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年10月11日

(3) 学会発表・講演等

- ① 出雲古代史研究会第35回大会「古代隠岐研究からみた出雲」 2024年8月24日 参加者51名 オンライン42名
- ② 壱岐市立一支国博物館特別講座「隠岐・出雲の古代史研究のいま」 2024年9月22日
- ③ 島根県埋蔵文化財調査センター第4回専門研修「誕生、隠岐国」展の準備をとおして」 2024年10月18日 参加者約20名

(4) 展示活動

- ① 主担当 企画展「誕生、隠岐国」 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年3月22日～5月19日
- ② 副担当 企画展「山陰の戦乱－月山富田城の時代－」 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年10月11日～12月8日

(5) 外部委員・講師等

- ① 2024年度 隠岐ユネスコ世界ジオパーク認定2級ガイド養成講座 第6回 「隠岐の人の営みの概要」 島前会場 2024年12月24日 参加 12名（動画視聴のみ 1名） 島後会場 2024年12月25日 参加者2名

(7) 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「奈良時代の出雲と奈良の大仏」 出雲市立朝陽小学校 2024年9月12日 参加児童34名

東森 晋（考古学）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① 執筆編集 企画展図録『荒神谷発見！－出雲の弥生文化－』 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年7月11日
- ② 「島根県立古代出雲歴史博物館企画展 荒神谷発見！－出雲の弥生文化－」『山陰中央新報』 2024年7月14日
- ③ 「出雲の弥生文化を考える」『山陰中央新報』 2024年8月16日
- ④ 「島根県域の弥生時代遺跡」『島根県域における弥生社会の総合的研究』島根県古代文化センター研究論集第34集 島根県古代文化センター 2025年3月31日
- ⑤ 「出雲地域の流水文土器について」『島根県域における弥生社会の総合的研究』島根県古代文化センター研究論集第34集 島根県古代文化センター 2025年3月31日

(3) 学会発表・講演等

- ① 令和6年度荒神谷博物館特別展関連講座「荒神谷発見！－出雲の弥生文化－」 荒神谷博物館 2025年8月17日 参加者42名

(4) 展示活動

- ① 主担当 企画展「荒神谷発見！－出雲の弥生文化－」 島根県立古代出雲歴史博物館 2025年7月11日～9月8日

藤原 宏夫（民俗学）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① 共著 『国記録選択民俗文化財調査報告書 十二神祇神楽 阿刀神楽』広島市教育委員会、2025年3月31日
- ② 「佐太神社と佐陀神能」『民俗音楽研究』第50号、日本民俗音楽学会、2025年3月31日

(3) 学会発表・講演等

- ① 日本民俗音楽学会出雲大会講演「佐太神社と佐陀神能」 鹿島文化ホール 2024年12月14日 参加者64名
- ② 日本民俗音楽学会出雲大会シンポジウム「出雲神楽を問い直す」 松江テルサ 2024年12月15日 参加者64名
- ③ シマネスクくにびき学園講義「石見神楽の歴史と現在」 島根県立西部総合福祉センター 2025年2月14日 参加者8名

(4) 展示活動

- ① 主担当 ミニ企画「郷土玩具の世界」島根県立古代出雲歴史博物館 2024年7月17日～9月16日

(5) 外部委員・講師等

- ① 益田市文化財保護審議会委員 2020年4月～
② 廿日市市文化財保護審議会委員 2024年4月～
③ 広島県民俗芸能緊急調査詳細調査員 2024年4月～
④ 広島市阿刀神楽調査検討会議委員 2021年4月～2025年3月
⑤ 島根大学非常勤講師 2024年4月～7月
⑥ シマネスクくにびき学園西部校講師 2024年4月～2025年3月

(6) 調査指導・職員派遣等

- ① 玖島中村神楽団資料調査 2024年12月9日 廿日市市教育委員会

澤田 正明（保存科学）

(5) 外部委員・講師等

- ① 島根大学部非常勤講師 2024年10月～2025年1月
② 科学研究費助成事業「材料科学および工芸技術からみた古墳出土金工品の総合的研究－藤ノ木古墳を中心に－」
研究協力者（代表：奈良県立橿原考古学研究所 奥山誠義） 2021年4月～
③ 史跡国富中村古墳保存活用計画策定委員会委員 2025年2月～

濱田 恒志（美術史）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① 分担執筆 企画展『山陰の戦乱一月山富田城の時代－』図録 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年10月11日
② 共著 「島根県内に所在する木彫仏像・神像の樹種調査（2）－附・放射性炭素による年代測定結果－」『古代文化研究』第33号 2025年3月31日
③ 共著 「安来市城安寺の仏師定宗作阿弥陀如来坐像について－新出の室町期在銘作例の紹介－」『中世山陰の戦争と地域社会』島根県古代文化センター研究論集第35集 島根県古代文化センター 2025年3月31日
④ 「島根県安来市・清水寺十一面観音立像の再検討－制作年代を中心に－」『美術史学』第46号 2025年3月31日
⑤ 共著 「隠岐の島町・八王子神社の隨身坐像について」『隠岐の文化財』第42号 2025年3月31日
⑥ 「三刀屋町・峯寺の大日如来坐像と観音菩薩坐像について－雲南市新指定文化財の紹介－」『雲南市文化財調査研究報告』第1集 2025年3月31日
⑦ 「掛合町・圓通寺の観音菩薩（伝如意輪観音）遊戯坐像について－西日本に遺る遊戯坐像の一例－」『雲南市文化財調査研究報告』第1集 2025年3月31日

(3) 学会発表・講演等

- ① 「雲南市の仏像－新指定の峯寺の仏像を中心に－」令和6年度雲南市歴史文化講座 三刀屋交流センター 2024年7月20日 参加者28名
② 「持続可能な収集・保管・展示とは？－持続できなかった例から考える－」令和6年度日本博物館協会中国支部・しまねミュージアム協議会合同研修会 島根県民会館 2024年11月21日 参加者65名
③ 赤穴八幡宮玉依姫立像見学会（飯南町教育委員会主催） 赤名農村環境改善センター 2025年3月17日 参加者15名

(4) 展示活動

- ① 主担当 ミニ企画「禅定寺の仏像」島根県立古代出雲歴史博物館 2024年9月18日～11月18日
② 副担当 企画展「山陰の戦乱一月山富田城の時代－」島根県立古代出雲歴史博物館 2024年10月11日～12月8日

(5) 外部委員・講師等

- ① 新尾道市史文化財編執筆者 2017年2月～

- ② 雲南市文化財保護審議会委員 2018年12月～
- ③ 三原市文化財保護審議会委員 2019年5月～

(6) 調査指導・職員派遣等

- ① 町内仏像調査 2024年6月11日、11月28日、11月29日 隠岐の島町教育委員会
- ② 村内仏像調査 2024年6月12日 知夫村教育委員会
- ③ 市内寺院所蔵品調査 2024年11月20日、26日 雲南市教育委員会
- ④ 町内神像調査 2024年12月16日 飯南町教育委員会

田村 亨（中世史）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① 執筆編集 企画展図録『山陰の戦乱一月山富田城の時代―』 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年10月11日
- ② 「古代出雲歴史博物館秋季企画展「山陰の戦乱一月山富田城の時代―」」『季刊文化財』159号 2024年10月31日
- ③ 「摂家将軍期の公武政権と寺社紛争解決」『鎌倉遺文研究』54号 2024年10月29日
- ④ 「佐々木広綱―京都と鎌倉のはざまで葛藤した武士―」田辺旬・前田英之編『京都からみた鎌倉幕府の成立』小径社 2024年12月3日
- ⑤ 「源義親の乱―院政期の武士と出雲国―」公益財団法人いづも財団・出雲大社御遷宮奉賛会編『出雲の歴史と地域文化2 古代編』今井出版 2025年2月1日
- ⑥ 「16世紀の山陰地域と戦争―「中世山陰の戦争と地域社会」の成果と課題」『中世山陰の戦争と地域社会』島根県古代文化センター研究論集第35集 島根県古代文化センター 2025年3月31日
- ⑦ 共著 「島根県立古代出雲歴史博物館館蔵資料の紹介」『中世山陰の戦争と地域社会』島根県古代文化センター研究論集第35集 島根県古代文化センター 2025年3月31日

(4) 展示活動

- ① 主担当 企画展「山陰の戦乱一月山富田城の時代―」 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年10月11日～12月8日

田中 昇一（古代史）

(1) 論文・寄稿・映像資料等

- ① 「『続日本紀』の雑任関係記事について」『続日本紀研究』438 2024年12月20日
- ② 「書評 森公章著『古代郡司と郡的世界の実像』／『平安時代の国衙機構と地方政治』」『白山史学』61 2025年3月15日
- ③ 教えて！学芸員さんVol.64 「「神宮」と「大社」の違い」 島根日日新聞社小学生新聞9月号 2024年9月1日

(2) 研究報告等

- ① テーマ研究 律令制下における地方行政の研究 第3回検討会「出雲国の木簡と調庸輸送業務」 2024年9月15日

(3) 学会発表・講演等

- ① 歴博入門講座「『出雲国風土記』が語ること」 島根県立古代出雲歴史博物館 2025年2月15日 参加者28名

(4) 展示活動

- ① 副担当 企画展「山陰の戦乱一月山富田城の時代―」 島根県立古代出雲歴史博物館 2024年10月11日～12月8日

(7) 普及活動等

- ① 心に残る文化財子ども塾「奈良時代と奈良の大仏」 大田市立温泉津小学校 2024年6月5日
- ② 心に残る文化財子ども塾「奈良時代と奈良の大仏」 出雲市立荒木小学校 2024年6月25日
- ③ 心に残る文化財子ども塾「奈良時代の中央小学校周辺と奈良の大仏」 松江市立中央小学校 2024年6月26日
- ④ 出前授業「『出雲国風土記』とは何か」「風土記の地名起源説話」 島根県立出雲高等学校 2025年1月29日、2月6日

古代文化センター企画運営委員会委員名簿

委員長	佐藤 信	東京大学名誉教授
職務代理者	山本 悦世	岡山大学名誉教授
委員	兼岡 理恵	千葉大学大学院人文科学研究院教授
	小林 准士	島根大学法文学部教授
	千葉 潮	安来市加納美術館館長
	仁藤 敦史	国立歴史民俗博物館教授・総合研究大学院大学教授
	伴 瀬 明 美	大阪大学大学院人文学研究科教授
	俵 木 悟	成城大学文芸学部教授
	平 郡 達 哉	島根大学法文学部准教授
	山村 亜 希	京都大学大学院地球環境学堂教授

(令和7年3月現在 委員長・職務代理者以外の委員は50音順)

古代文化センター客員研究員名簿

【考古基礎資料調査研究】

岩 本 崇	島根大学法文学部准教授
大 谷 晃 二	松江市立皆美ヶ丘女子高等学校教諭
大 橋 泰 夫	島根大学法文学部教授
村 田 裕 一	山口大学人文学部准教授
吉 田 広	愛媛大学ミュージアム教授

【風土記調査研究】

荒 井 秀 規	明治大学兼任講師
伊 藤 剣	明治大学法学部教授
大日方 克 己	島根大学名誉教授
渡 邊 正 巳	文化財調査コンサルタント

【祭礼行事調査研究】

浅 沼 政 誌	松江市文化財課 文化財係 歴史史料専門調査員
久保田 裕 道	東京文化財研究所無形文化遺産部無形民俗文化財研究室・室長
笹 原 亮 二	国立民族学博物館教授
俵 木 悟	成城大学 文芸学部 教授
中 野 洋 平	島根県立大学人間文化学部准教授

【中世・近世史料の多角的研究】

小 林 准 士	島根大学法文学部教授
西 田 友 広	東京大学史料編纂所准教授

【テーマ研究】

(島根県域における弥生社会の総合的研究)

會 下 和 宏	島根大学研究・学術情報機構総合博物館教授
寺 前 直 人	駒澤大学文学部教授
平 郡 達 哉	島根大学法文学部准教授
吉 田 広	愛媛大学ミュージアム教授

	若 林 邦 彦	同志社大学歴史資料館教授
(中世山陰の戦争と地域社会)		
	中 井 均	滋賀県立大学名誉教授
	長谷川 博 史	島根大学教育学部教授
	山 本 浩 樹	龍谷大学文学部教授
(島根の前期古墳)		
	岩 本 崇	島根大学法文学部准教授
	高 田 健 一	鳥取大学地域学部教授
	廣 瀬 覚	奈良文化財研究所飛鳥資料館古墳壁画室長
	北 條 芳 隆	東海大学教授
(鋳物と鋳物師の研究)		
	五十川 伸 矢	元京都橘大学教授
	角 田 徳 幸	雲南市教育委員会文化財課長
	鳥 谷 智 文	松江工業高等専門学校教授
	三 船 温 尚	富山大学名誉教授
	村 木 二 郎	国立歴史民俗博物館准教授
(律令制下における地方行政の研究)		
	大 橋 泰 夫	島根大学法文学部教授
	鐘 江 宏 之	学習院大学文学部教授
	田 中 広 明	埼玉県埋蔵文化財調査事業団
	森 公 章	東洋大学文学部教授
(幕末維新期の島根における地域社会の変容)		
	天 野 真 志	国立歴史民俗博物館准教授
	今 村 直 樹	熊本大学永青文庫研究センター准教授
	岸 本 覚	鳥取大学地域学部教授
	錦 織 稔 之	島根大学教育学部准教授
(環日本海の考古学的研究)		
	井 上 主 税	関西大学文学部日本史・文化遺産学専修教授
	野 島 永	広島大学人間社会科学研究科教授
	平 郡 達 哉	島根大学法文学部准教授
	森 本 幹 彦	福岡市経済観光文化局文化財活用部文化財活用課歴史資源活用係長
(平安時代中期の国制と山陰地域)		
	大日方 克 己	島根大学名誉教授
	佐 藤 全 敏	東京女子大学現代教養学部教授
	高 橋 照 彦	大阪大学大学院人文学研究科教授
	山 内 晋 次	神戸女子大学文学部教授

古代文化センター

センター長	間野大丞	古代出雲歴史博物館職員（兼務）	
主席研究員	平石充*	調整監	深田浩
主幹	岩井由紀	主席研究員	松尾充晶
主事	金崎祐子	専門研究員	岡宏三
〃	足立晴香	〃	中川寧
専門研究員	目次謙一*	〃	久保田一郎
〃	矢野健太郎*	〃	東森晋
〃	吉永壮志*	〃	藤原宏夫
〃	石山祥子*	〃	澤田正明
主任研究員	橋本剛*	〃	濱田恒志
〃	今福拓哉*	〃	田村亨一
〃	吉松優希*	研究員	田中昇一
特任研究員	野々村安浩		
〃	廣江耕史		
〃	榊原博英		
〃	土橋由奈		
調査研究補助	成合真紗美		

（* 古代出雲歴史博物館兼務）

〈考古基礎資料調査研究・古代文化テーマ研究事業〉 文化財課

文化財係		管理指導スタッフ	
主幹	増田浩太	主任	岩崎孝平
主幹	中安恵一	世界遺産室	
		専門研究員	倉恒康一

埋蔵文化財調査センター

所長	池淵俊一	調査第一係長	林健亮
高速道路S調整監	勝部智明	〃主幹	稲田陽介
高速道路S企画幹	宮本正保	調査第二課長	伊藤徳広
管理課長	東山信治	〃調査係長	神柱靖彦
〃保存活用係長	仁木聡	〃主任	椿真治
〃主幹	伊藤智	〃主任	鈴木七奈
〃主任	真木大空		
〃主事	木林俊英		

島根県古代文化センター研究紀要『古代文化研究』投稿要項

1. 島根県古代文化センター研究紀要（以下「紀要」という）は、広義の古代文化に関する研究論文・研究ノート・研究資料・書評等を掲載することにより、古代文化研究の発展に寄与するものです。
2. 原則として、紀要は本誌のほか島根県古代文化センターのホームページで電子公開します。
3. 紀要に投稿することができる者は、次のとおりです。
 - (1) 島根県古代文化センター（以下「センター」という）の専任・兼務職員、客員研究員、共同研究員及びセンターの組織・運営に関与したことがある者
 - (2) その他、島根県古代文化センター編集委員会（以下「編集委員会」という）において適当と認めた者
4. 投稿原稿は未発表のものに限ります。ただし、既発表資料等でも新たな視点で論述したものは可とします。また、投稿本数については、原則として研究論文・研究ノート・研究資料・書評等1人あたり各1本までとします。
5. 投稿する文字原稿は電子データに限ります。また、その様式は下記のとおりとします。
 - (1) 横書き 1頁 50字×40行の左右1段組（文字9pt／横158.6mm／高さ244mm・2,000字）。
 - (2) 縦書き 1頁 37字×25行の上下2段組（文字9pt／横155.6mm／高さ117.48mm・1,850字）。ただし、縦書きは37字×25行の段組なしの形態でも結構です。
6. 投稿する論文や研究ノートは、原則として上述の様式で24ページ以内とします。
7. 投稿に際しての提出物は、下記のとおりです。
 - (1) 紙上にプリントアウトした原稿
 - (2) 文字原稿及び図版・写真のデータ
 - ・ワープロ原稿の場合は、機種とソフトを明記したCD（必ず控えを保管しておいてください）を提出してください。
 - ・図版や写真を使用する場合は、原稿と同時に提出してください。図版や写真を後で提出されても受理しません。また図版や写真の掲載位置を示したレイアウト見本を添付してください。
 - ・挿図、写真はデジタルデータでの投稿が可能です。使用できるOS、ソフトについて事前に問い合わせてください。
 - (3) 使用図版、写真等の掲載及び電子公開に関する、所有者及び著作権者等からの許可証
 - ・許可申請は執筆者が行ってください。様式は任意で構いません。
8. 投稿をご希望の場合は、エントリーシートを当該年度の4月1日より7月31日までに提出し、エントリーシート提出後9月30日までに完成原稿を提出してください。これらの期限を過ぎた場合は、当該年度の紀要への掲載をお断りすることがあります。
9. エントリーシート及び原稿は、下記問い合わせ先の住所またはメールアドレス宛へ提出してください。なお、エントリーシートはセンターのホームページからダウンロードできます。
10. 原稿の採否及び編集については編集委員会が決定します。なお、投稿原稿の返却を希望する場合は申し出てください。
11. 掲載の場合は、「紀要」2部並びに抜刷50部に限り贈呈します。
12. 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行いません。
13. 掲載原稿の転載については、編集委員会にご相談ください。

■ 問い合わせ先

〒690-8502 松江市殿町1番地 島根県庁第三分庁舎
島根県古代文化センター編集委員会
TEL 0852 (22) 6727 FAX 0852 (22) 6728
E-mail kodai@pref.shimane.lg.jp
ホームページ
<https://shimane-kodaibunka.jp>

古代文化研究 第33号

発行日	令和7（2025）年3月31日
編集	島根県古代文化センター 〒690-8502 島根県松江市殿町1番地 島根県第三分庁舎 TEL 0852（22）6727 FAX 0852（22）6728 https://shimane-kodaibunka.jp/ https://www.facebook.com/shimane.kodai
発行	島根県教育委員会
印刷・製本	松陽印刷所 〒690-0826 松江市学園南二丁目3番11号
